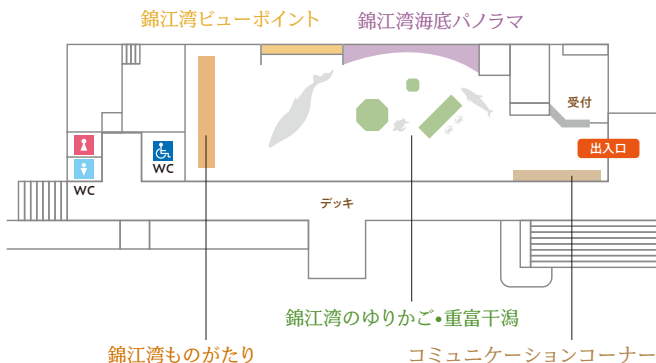


ようこそ、
重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアムへ！

なぎさミュージアムは、錦江湾と桜島を望む重富海岸にある、
錦江湾の自然とのふれあいの拠点施設です。
錦江湾や重富干潟にすむいきものたちや
自然の特徴を紹介しています。



重富海岸で遊ぼう♪

なぎさミュージアムのある重富海岸の干潟には
たくさんの生きものがすんでおり、
干潮時には様々な生きものを観察することができます。
また、夏休みには海水浴も楽しめます。



無料Wi-Fiが
使えます。



SSID:National_Park_Wi-Fi
メールアドレス登録またはSNSにて
ログインが必要。

発行：九州地方環境事務所／作成：2022年6月(3版)

ご利用案内

重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム

〒899-5652 鹿児島県始良市平松7675

開館時間 9:00～17:00
夏期 9:00～18:00

入館無料

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
※夏休み期間中は無休

お問合せ 0995-73-3146



<https://www.nagisa-museum.com>

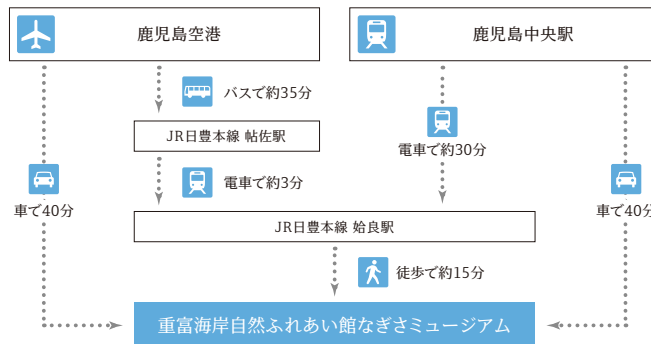


アクセス



駐車場のご案内

- ひがた駐車場(毎日9時～18時開放/夏期は19時まで) ●いこい駐車場(混雑時のみ開放)
 - なぎさ駐車場(毎日9時～18時開放/夏期は19時まで)
- ※大型バスでお越しの方はなぎさ駐車場をご利用ください。



高速ICからのアクセス

- 宮崎・熊本方面からのアクセス：加治木ICより車で約20分
- 鹿児島市方面からのアクセス：始良ICより車で約15分

この紙は国産竹100%を原料にしています。



霧島錦江湾国立公園

Kirishima-Kinkowan National Park



重富海岸自然ふれあい館 なぎさミュージアム Nagisa Museum

錦江湾
Kinkowan





火山が作り出した カルデラの海 錦江湾

錦江湾は大噴火を繰り返してきたカルデラの海です。湾奥部は2万9千年前に噴火をしてきた始良カルデラで、このときに噴出した火山噴出物は南九州に厚く堆積し、「シラス」と呼ばれています。日本有数の活火山、桜島を抱え、また湾奥部には海底火山もあり現在も活動を続けています。錦江湾の最深部は237mもあり、深海魚もすんでいます。複雑な地形をもち、黒潮が流れ込む暖かな錦江湾には多様ないきものたちがすんでいます。



©大村 稔

重富海岸

思川河口に広がる錦江湾で最大(53ha)の干潟です。桜島の絶景が楽しめます。



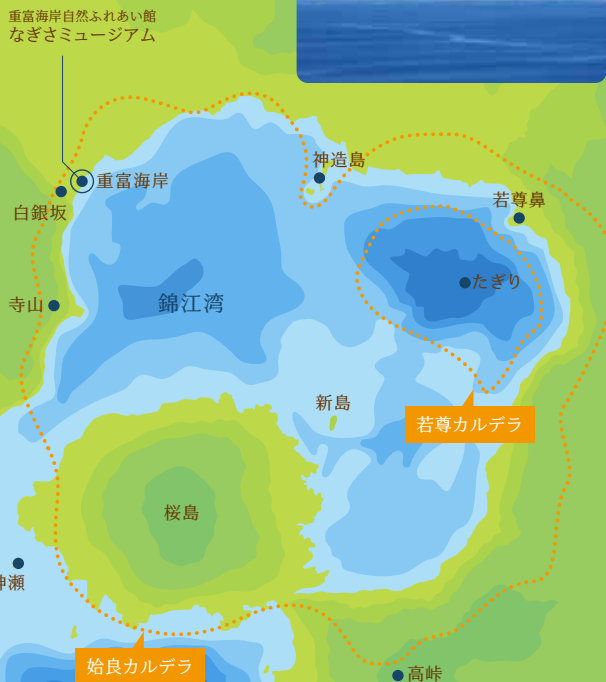
白銀坂

始良市の脇元から鹿児島市の牟礼ヶ岡まで伸びる、歴史国道の石畳の古道。先には桜島や錦江湾を一望できる展望台があります。



寺山

鹿児島市吉野町にある寺山展望台は、海拔400mに位置し、北に霧島連山、眼下に錦江湾、そして正面に桜島を臨む絶景スポットです。



神造島

辺田小島、弁天島、沖小島の三島を称した神造島。海底から隆起した地層内の流紋岩が年月をかけて削られた、珍しい地質が特徴です。



若尊鼻

霧島市の湾岸にある若尊鼻。ヤマタケルが熊襲の征伐に乗り出したと言われていた地点には、小さな神社が建っています。



©JAMSTEC

たぎり(若尊)

湾の北東には、若尊と呼ばれるカルデラがあります。海底火山のガスによって沸騰しているように見えることから「たぎり」と呼ばれています。



高峠

桜島と錦江湾、そして周囲の名所を360°見渡せるスポット。毎年春になると、ツツジが咲き乱れ、一面鮮やかな色に染まります。

阿多北部カルデラ



神瀬(神の浅瀬)

桜島と鹿児島市の間にある瀬で、干潮時には白い灯台の下に砂浜が広がります。周囲にはサンゴ礁や藻場があり、魚も豊富です。

重富海岸で出会えるいきものたち

重富海岸には錦江湾奥では最大の、約53haの干潟が広がります。海と陸をつなぐ干潟は海の水質浄化の役割を担い、多くのいきものすみかや餌場となっています。



©かごしま水族館

ミナミハンドウイルカ(通年)

錦江湾に定住しているイルカ。海岸や錦江湾沿岸の道路から見ることがあります。



ミサゴ(通年)

お腹が白いタカの仲間。魚を捕まえるために海に飛び込みます。



クロツラヘラサギ(10~5月)

世界で4,463羽(2019年調査)程度しかいない希少な鳥。ヘラのようなくちばしの特徴。



カワセミ(通年)

青い宝石のように美しい色をした鳥です。水辺で見かけることができます。



チュウシャクシギ(3~5月、9~11月)

春と秋に干潟に立ち寄る珍しいシギです。ホイッスルのようなよく響く声で鳴きます。



マメコブシガニ(3~11月)

干潟でよく見かける丸い形をしたカニ。前後左右斜め、どの方向にも歩けます。



ハクセンシオマネキ(4~11月)

漢字では白扇潮招。白い扇で潮を招くようなダンスをすることから名付けられました。



オサガニ(5~10月)

広い砂の干潟にしか生息できません。出会えることの少ない珍しいカニです。



ムギワラムシ(通年)

巣の一部がストローのように干潟に出ています。大半を巣の中で過ごします。



ウミニナ(通年)

重富海岸にたくさんいる巻貝です。全国的に生息場所が減少しています。